

Eウッドスタイル 壁付タイプ

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

安全注意事項の表示

本文中の  禁止  注意 の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

 禁止

- ◆本製品は既存コンクリート壁の化粧を目的に設置するものです。目的以外の用途に使用しないでください。
- ◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。
- ◆破損や事故の原因となりますので、板塀本体に重いものを乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。
- ◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けなでください。
- ◆変形や変色の原因となりますので、アルコール以外の有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

☆本製品は新しい発想と、製造技術開発により生み出された製品です。素材は数多くの特長を持っており、一般住宅でも広く使われております。

- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたやほかの人々の危害や損害を未然に防止するものです。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

<施工の前に>



警告

- 本製品は既存コンクリート壁の化粧を目的に設置するものです。目的以外の用途に使用しないでください。
- 本製品の施工には別売『連結バー材』が必要です。使用しない場合、本体の伸縮により反り・割れが生じる場合があります。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- 本製品は、強度確保のできるコンクリート製の壁への取付を目的としています。コンクリートブロックや、取付強度の確保できない壁面には取付けないでください。
- 取付面が防水構造になっていないかどうか確認してください。取付ネジ穴により、防水面が破損する場合があります。
- 本製品施工前にできる限り太陽光に当てないで下さい。板材が伸縮するおそれがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズ付きの原因となります。
- 本製品の化学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類等には優れた抵抗性を持っています。アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っており、触れると変色する原因となります。
- 火気があたり続けると軟化や融解をします。火気は近付けしないでください。
- 壁付部材のピッチは1000mm以下で施工してください。それ以上は、耐風圧強度が大幅に低下します。
- 本製品の取付については、本体に同梱されている取付説明書をご確認ください。
- 本製品の施工につきましては、連結バー材をご使用ください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。

■ 梱包明細表



注意

- 開梱時に部品の種類と数量を確認してください。
- 商品に異常がないことを確認してください。

1 板

名 称	略 図	数 量
L1995×H45×D10 L1995×H120×D10 L1995×H176×D12 L1995×H100×D15		必要数
固定ビス(別売) 連結バー材用 φ4×35ドリルネジ		30本入
取付・取扱説明書		1

2 壁付部材

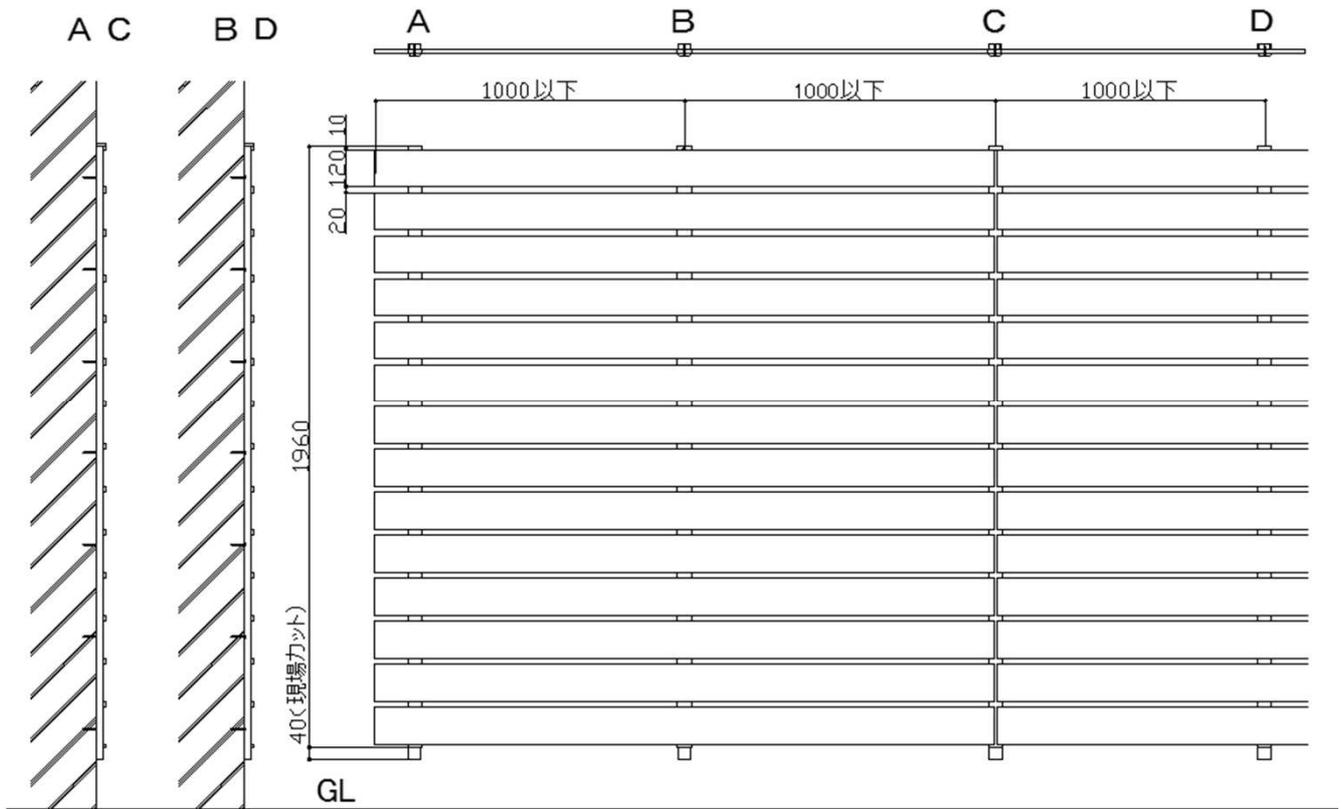
名称・寸法図・数量	
	プレスアンカー φ4x45 x(10本/壁付部材1本に同梱)

3 連結バー材セット(別売)

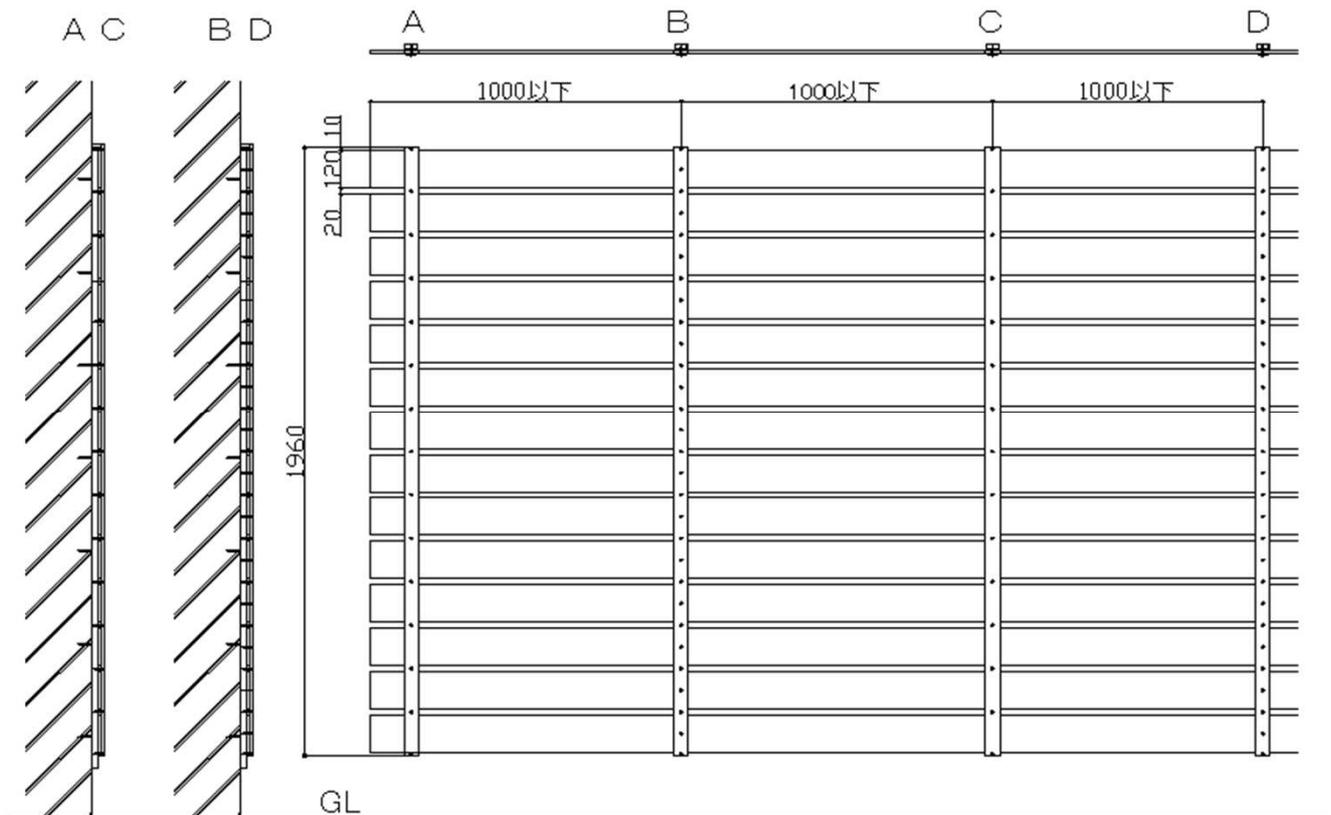
名 称		略 図	数 量
連結バー材 L2000xW45 ※H寸法に現場でカット			1本/壁付部材1本
当て板 両面テープ付	上端 L10x45	中間 L指定寸法x45	下端 L10x45
	1個/壁付部材1本	(板段数-1)個/壁付部材1本	1個/壁付部材1本
キャップ 両面テープ付			壁付部材同数、または指定数

■基本寸法

◆板・継目配置 (120板、隙間「20mmの場合)



◆連結バー材(押え板)取付後・ネジ配置 (120板、隙間「20mmの場合)



■施工手順

1 壁付部材の施工

①壁付部材を指定の長さに切断します。

※L=995以下の場合、L=2000から2本取りが可能です。ただし、キャップが手配が必要です。

②壁付部材の千鳥配置穴を治具にして、壁面に穴配置を写し取ります。

※2本取り以上の場合、工場加工穴は同一カ所になりません。切断した部材1本ごとに番号を付け、それぞれの番号ごとに穴位置を写し取ってください。

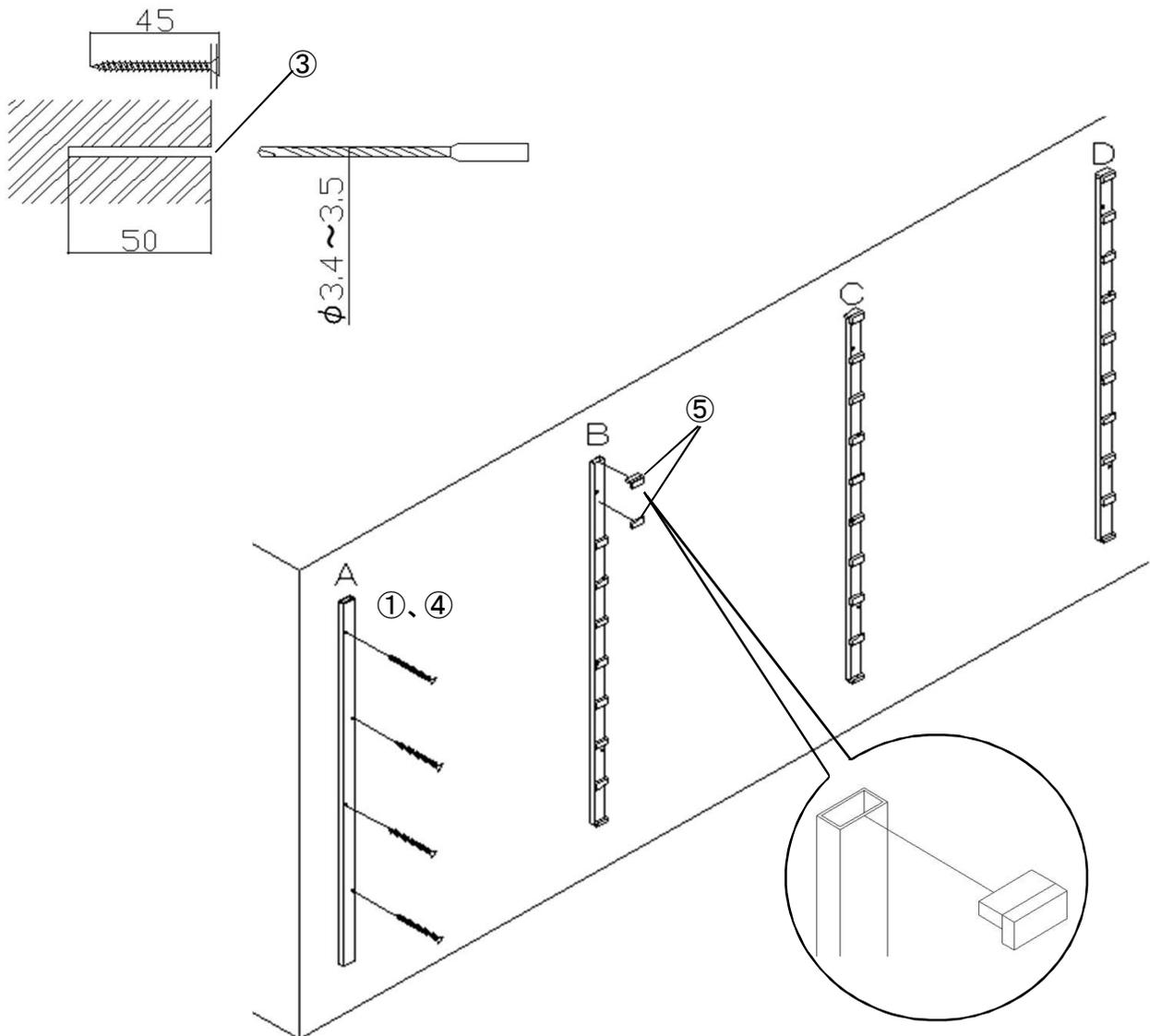
③φ3.4～3.5のコンクリート専用ドリルを振動ドリルに装着し、壁面の穴位置に約50mmの深さの穴をあけます。

⚠ 注意

●骨材やその他干渉物で穴が開かない場合は、穴位置をずらし、壁付部材の取付穴も現場加工で

④φ4x45Pレスアンカーで壁付部材を取付けます。

⑤キャップ、当て板を壁付部材に貼り付けます。



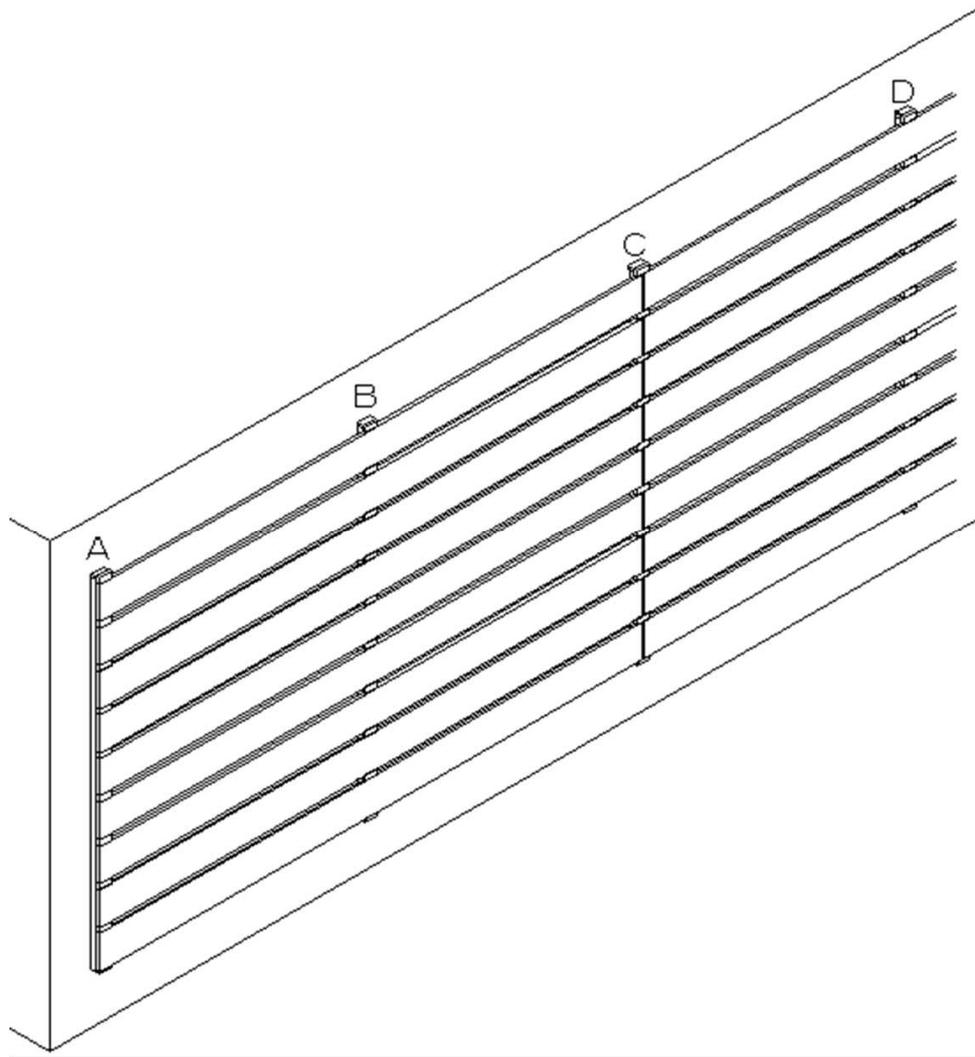
2 板材の配置

● 板材を当て板間に配置します。

⚠ 注意

※ 壁付部材C(板連結部)で隙間5mmをあけてください。

板材の熱収縮を吸収できなくなり、不具合が発生する場合があります。

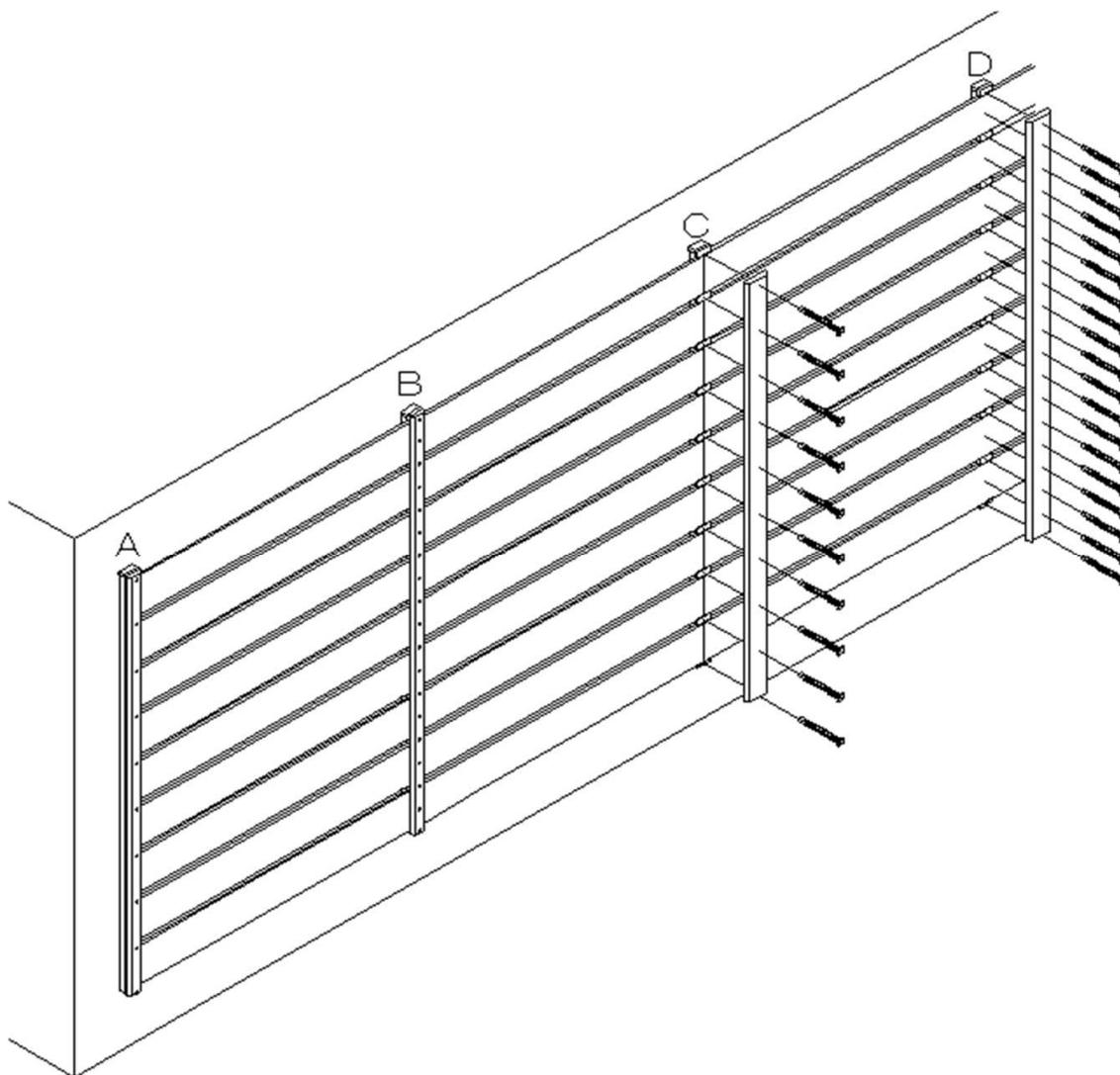


3 板材の配置

- ①柱A(スライド固定部)、柱C(板連結部)は、下図の通り、隙間部の当て板中心に、 $\phi 4 \times 35$ ドリルネジで連結バー材(押え板)を取付けます。
- ②柱B、D(板固定部)は、下図の通り、隙間部のの当て板中心および120板の中心位置に $\phi 4 \times 35$ ドリルネジで連結バー材(押え板)を取付けます。

注意

- 連結バー材(押え板)は、柱Aのスライド固定部、柱Cのすき間5mmの板接続部では絶対にネジ止めしないでください。
板材の熱収縮を吸収できなくなり、不具合が発生する場合があります。
- 柱A、Cのネジは締めすぎないでください。板材の熱収縮を吸収できなくなり、不具合が発生する場合があります。



EXIS 株式会社 **エクシス**